

人に語れるようになる“ITのツボ”（第3回）

ビジネスフォンを“クラウド化”すべき理由とは

2016.05.11

近年、ビジネスフォンのクラウド化が進みつつあります。従来のオンプレミス型と比べてどのようなメリットがあるのでしょうか。クラウド型ビジネスフォンの特徴についてご紹介します。

多くの企業で導入されている「ビジネスフォン」。前回はビジネスフォンの基本的な知識を紹介しましたが、今回は「クラウド型ビジネスフォン」についてです。「クラウド型」は、従来の「オンプレミス型」と比べ、どのようなメリットがあるのでしょうか？

クラウド型ビジネスフォンはオンプレミス型と比べ何が便利なのか？



オンプレミス型のビジネスフォンとクラウド型ビジネスフォンの一番の違いは、自社のサーバールームなどに設置する主装置の有無です。従来のビジネスフォンは、主装置に電話機を接続することで、内線電話機同士の通話や転送ができるようになります。主装置というハードウェアを設置して運用するため、経年劣化が発生したり、システムの更新などによる管理コストも必要になったりします。

一方、クラウド型ビジネスフォンは、主装置の代わりとなるサーバーをクラウド上に置くことで、自社に主装置を設置する必要がなくなります。主装置の劣化に伴うハードウェアの交換コストやシステム更新に伴う管理コストが削減できます。

従来のオンプレミス型のビジネスフォンは、回線を増設する場合に配線工事が必要なため、使用できるまでに時間がかかります。一方クラウド型は、インターネット上で回線を管理しているため、増設の際の手間や時間が軽減でき、効率良く導入できます。

こうしたメリットによって、業務拡大や営業所の新設の際にも、内線が使用できる環境を速やかに作り出せます。社内レイアウトの変更やオフィス移転の際にも内線番号の変更や電話回線の工事が不要です。短期的な出張用の事務所などにも容易に内線電話環境を設置できます。

在宅時や海外出張時でも内線利用可… 続きを読む